

ひいかわ かんどがわ  
**斐伊川・神戸川  
流域環境マップ**

世界を  
描きなおす  
あなたの  
発見！

**2023**報告書



河川基金

2024年2月

主催：NPO法人しまね体験活動支援センター

主幹：斐伊川・神戸川流域圏小・中学校他

協力：島根県中山間地域研究センター

この事業は（公財）河川財団の河川基金助成事業、（一社）中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受けています。

## 宇宙から見た斐伊川・神戸川流域

撮影衛星：Terra/ASTER

解像度：15m

撮影日：

・出雲部 2003/4/10

・石見部 2001/4/4

衛星画像処理：作野 裕司

(広島大学大学院先進理工系科学研究科)

ASTERは可視光の赤波長，緑波長，そして近赤外波長，合計3波長の画像を撮影しています。この画像は3波長のASTERデータを使って，自然色になるよう合成してあります。

# も く じ

はじめに .....	2
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要 .....	4
2023年度の活動 .....	13
春の指導者研修会 .....	14
第17回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会報告 .....	15
新聞掲載 .....	17
調査について .....	18
Web-GISでのマップづくり .....	20
調査参加校等一覧 .....	21
調査参加校等マップ .....	22
指導教員対象アンケートの結果 .....	23
学校からの報告 .....	25
春・夏の調査地点 .....	37
春の調査ポイント一覧【基本・コメント編】 .....	38
春の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】 .....	38
秋の調査地点 .....	39
秋の調査ポイント一覧【基本・コメント編】 .....	40
秋の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】 .....	41
調査風景 .....	42
総合分析マップ .....	44
きれいな水にすむ生き物 .....	47
ややきれいな水にすむ生き物 .....	53
きたない水にすむ生き物 .....	58
とてもきたない水にすむ生き物 .....	62
きれいな水・ややきれいな水の両方にすむ生き物 .....	65

## はじめに

### 川に対する関心を高めてもらうことに一役

NPO法人しまね体験活動支援センター 理事長 青木 充之

NPO法人 しまね体験活動支援センターでは、22年前から神戸川流域の環境調査を、また、平成19年度からは、神戸川が斐伊川水系の河川となったので、斐伊川・神戸川流域に調査区域を拡大し「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」事業を実施してきました。

ふるさとを愛する心と河川環境保護の精神の育成をテーマに流域の小・中・高等学校の児童、生徒達に実際に川に入ってもらい、川の感触や周囲の自然の様子を体感しながら、川の周辺の様子や水質検査、水生昆虫の調査による水質判定をしてもらっています。

得られたデータは、島根県中山間地域研究センターでマップ化してもらい、島根県のHPにあるWeb-GIS地図に掲載したり(今年度で終了)、報告書にまとめて発刊することで、学校および広く県民に川に対する関心を高めてもらうことに一役買っています。同時に蓄積された調査結果は、河川環境の変化を観るための基礎的なデータとして利用されています。

今年度も、10校の小・中・高等学校の延べ534名が調査に参加し、その中から出雲市立塩冶小学校と出雲市立佐田中学校の代表2校の研究成果が11月18日(土)出雲科学館で発表されました。研究内容や発表方法は年ごとに変化し、支流の河川とか、施設にまで調査範囲を広げたり、食物連鎖に気付いたり、生徒個人がテーマを持って調査し発表するといった工夫が見られました。

こうした地道な成果が全国でも認められ、国土交通省の「手づくり郷土賞」の表彰を受けたり、公益財団法人河川財団の「川づくり団体事例発表会」で3度も全国発表をしたりと全国区として認知されています。私たちは、今後もこの事業を継続し、斐伊川・神戸川流域の自然と環境保全に役立てて行きたいと願っています。

### 自然と向き合うことの厳しさ

国土交通省 出雲河川事務所長 小谷 哲也

令和6年は、石川県の能登半島地震という、自然の強大な力を見せつけられ、これに立ち向かうことから始まりました。

亡くなられた方々に哀悼の意と、避難生活を余儀なくされている多くの被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

国土交通省では被災地の方々の気持ちに寄り添い、関係機関と協力して被災地が一日も早く復旧・復興できるよう、全力で取り組んでまいります。

さて、私たちが当たり前のように暮らしている日常生活や、豊かな自然環境とのふれあいなど、巨大地震を前にしては、一瞬で失ってしまうことを再び強く認識させられました。

本活動にはあまり関係がない話かと思われるかもしれませんが、河川やダム、道路、港湾など、安全な社会基盤の整備と適切な維持管理があつてこそ、豊かで安心して暮らせる地域が維持されるのです。

これからの時代を担う多くの子どもたちが、これまで続けてこられた「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」を通じ、斐伊川・神戸川から与えられる恵みを感じ、ふるさとを大切に守り・育てていただくことを願いつつ、自然環境や地域に生息している生物の変化など、身近に起こる小さな変化に気付く五感を大切にしたいと思ひます。

出雲河川事務所は、これからも地域の皆様方とともに、斐伊川・神戸川を安全・安心、そして豊かな川として整え守ってまいります。

最後に、この活動を長年継続されている NPO 法人しまね体験活動支援センターの関係者の皆様に敬意を表すとともに、より多くの方々にこの活動の価値や大切さが伝わっていくことを期待します。

## 成果発表会に参加して

出雲市教育委員会教育政策課 社会教育係長 大國 亨

「第 17 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」が、NPO 法人しまね体験活動支援センター及び島根県中山間地域研究センターの皆様方のご尽力により開催されました。長年にわたり本会を企画・運営し、子どもたちの学習の成果を発表する機会をつくっていただいていますことに、改めて感謝申し上げます。

今年度は、塩冶小学校と佐田中学校の 2 校の発表でした。どちらの学校も、身近にある「川」を教材に様々な視点から考え、調べ、まとめ、伝えることができました。

塩冶小学校は、神戸川、斐伊川、赤川の環境について水質や水生生物等についてそれぞれ調べ、比較しながらその特徴をまとめていました。実際に川に入ってその冷たさや川底の感触を確かめたり、川の中にいる生き物から水質を判定したりした活動は、子どもたちの心に残る体験になったことと思ひます。

佐田中学校は、釣りやカヤックなど神戸川を楽しむ体験から、ふるさとの良さを再発見することができたことと思ひます。その良さをいつまでも守り続けるために自分たちができることを考え、環境保全活動を実際にする活動までつながりました。体験からふるさとへの愛着を持ち、地域貢献のために実行する姿からは、しまねのふるさと教育がしっかりと実践され、着実に根付いていることを感じました。

出雲市は、「トキも人も育つまちへ」をキャッチフレーズに、トキをはじめとした野生動植物にも人にもやさしい里山づくりを進めています。斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの活動を通して、自然環境保全の大切さを学んだ子どもたちが、トキにも人にもやさしい出雲を創る一人として、活躍してくれることを大いに期待しています。

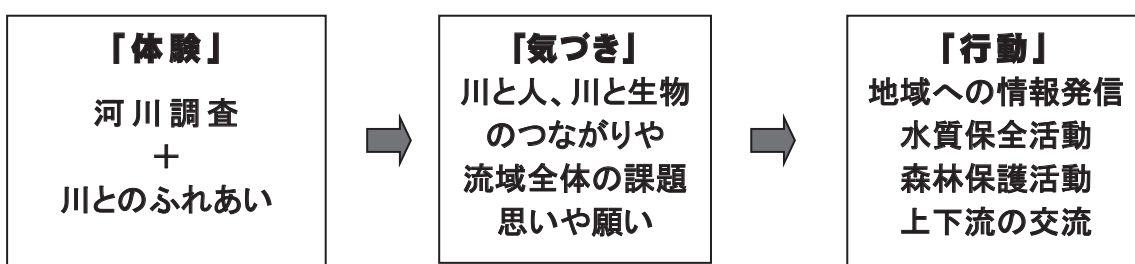
## 斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要

### ◆ねらい

ふるさと学習を通じての「ふるさとを愛する人づくり」の一環として、また、流域全体の河川環境学習の一環として、2002年から神戸川を活用した「川の環境マップづくり」に取り組んできました。平成19(2007)年からは、斐伊川流域まで範囲を拡大して河川環境マップづくりを行いました。

川での調査体験活動の取り組みと、そこから感じられた様々な気づきや地域環境への願いなどを子ども達が流域全体に情報発信していきます。

### ふるさとを愛する人づくり・河川環境学習の推進



### ◆実施機関

主催：NPO 法人 しまね体験活動支援センター

主幹：斐伊川・神戸川流域圏小中学校（2市2町の小中学校等が対象（2023年度））等

協力：島根県中山間地域研究センター

ひいかわ

### ◆斐伊川の概要

源流：島根県・鳥取県の県境 せんつうざん 船通山（標高 1,142.5m） 延長：約 153km

流域は、上流から宍道湖に流入する斐伊川本線流域と、汽水湖である宍道湖の流域、中海の流域の3つに大別されます。斐伊川は典型的な砂河川で、全国でもまれな「天井川」として知られています。上流部では昔「たたら製鉄」が行われていました。宍道湖・中海については比較的浅く、また日本海との平均水位差が数 cm～数 10cm と小さいため、淡水と海水が入り混じった「汽水湖」で、西日本最大級の冬鳥の飛来地としても有名です。

かんどがわ

### ◆神戸川の概要

源流：飯石郡飯南町南端 めがめやま 女亀山（標高 830m） 延長：約 82km

神戸川は流域の約80%が山地で、川は『出雲国風土記』にも登場し古来から親しまれています。斐伊川神戸川治水（合流）事業により飯南町には志津見ダムが完成、下流部出雲市では 2013 年に斐伊川放水路工事が完成し洪水時に分水が開始されました。2006 年 8 月 1 日からは神戸川は1級河川に指定され、斐伊川流域に編入されました。

#### ◆参加校等（公民館含む）

**飯南町** 【小学校】 赤名、頓原

**出雲市** 【小学校】 塩冶、神戸川、須佐、多伎  
【中学校】 佐田 【高等学校】 出雲西

**雲南市** 【小学校】 大東、阿用

**奥出雲町**

#### ◆内容

- ①調査は春・夏・秋に分けて実施します。
- ②各学校付近で実際に川に入って、指標生物やゴミ、水質（pH、COD）などを調査します。
- ③指標生物を分析し、種類・数から水質判定します。  
（国土交通省・環境省の指標を採用）
- ④調査地点ごとに調査結果（指標生物数、感想、写真など）を、各学校からインターネットを使って島根県のホームページの「マップ on しまね」～島根県統合型GIS～に入力します。
- ⑤流域全体の河川環境マップが完成します。

公開先 **島根県ホームページ**

**「マップ on しまね(島根県統合型 GIS)」**

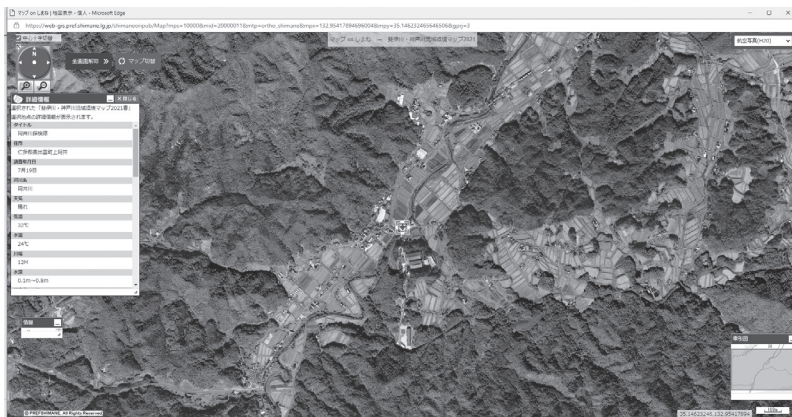
参加型マップ/斐伊川・神戸川流域環境マップ




↑川に入って生物探し



↑水生昆虫識別中



（上）各学校から入力された情報で完成した斐伊川・神戸川流域環境マップの画面。地図のをクリックすると調査結果や感想、写真などを見ることができます。

#### ◆協力機関

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

公益財団法人河川財団、一般社団法人中国建設弘済会、島根県、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、飯南町教育委員会、奥出雲町教育委員会、公益財団法人島根県環境保健公社、島根県立宍道湖自然館ゴビウス他

◆これまでの活動


2002年の中から通算58回、のべ**16,733**人もの子どもたちが参加しました。

調査時期	参加校等	参加者	調査地点	調査期間	統一調査日	
H14	秋	29	1108	54	9/11～10/11	9/12
H15	春	18	985	34	5/26～6/20	6/5
	秋	28	1135	58	9/2～9/30	9/18
H16	春	24	810	48	6/1～6/30	6/9
	秋	13	396	29	9/1～9/30	9/9
H17	春	14	633	31	6/1～7/15	7/7
	秋	17	501	47	9/1～9/30	9/9
H18	春	12	261	16	6/6～7/7	6/12～6/16
	秋	11	379	17	9/4～10/4	9/11～9/15
H19	春	28	226	18	6/4～7/13	なし
	秋	14	400	13	9/3～10/5	なし
H20	春	17	386	29	5/27～7/18	なし
	秋	16	490	23	9/1～10/10	なし
H21	春	23	478	29	5/28～7/18	なし
	夏	5	75		7/19～8/31	なし
	秋	24	711	24	9/1～10/25	なし
H22	春	11	206	16	5月～7月	なし
	夏	9	189		7月～8月	なし
	秋	20	610	23	9月～11月	なし
H23	春	14	301		5月～7月	なし
	夏	8	127		7月～8月	なし
	秋	17	378		9月～11月	なし
H24	春	14	241		5月～7月	なし
	夏	10	207		7月～8月	なし
	秋	13	305		9月～11月	なし
H25	春	9	178		5月～7月	なし
	夏	10	259		7月～8月	なし
	秋	12	278		9月～11月	なし
H26	春	9	262		5月～7月	なし
	夏	7	97		7月～8月	なし
	秋	10	176		9月～11月	なし
H27	春	11	225		5月～7月	なし
	夏	4	43		7月～8月	なし
	秋	11	231		9月～11月	なし
H28	春	7	168		5月～7月	なし
	夏	6	122		7月～8月	なし
	秋	8	206		9月～11月	なし



H29	春	9	193		5月～7月	なし
	夏	6	67		7月～8月	なし
	秋	9	228		9月～11月	なし
H30	春	8	144		5月～7月	なし
	夏	6	185		7月～8月	なし
	秋	6	104		9月～11月	なし
R1	春	8	164		5月～7月	なし
	夏	2	28		7月～8月	なし
	秋	9	282		9月～11月	なし
R2	春	3	40		5月～7月	なし
	夏	5	57		7月～8月	なし
	秋	8	217		9月～11月	なし
R3	春	8	141		5月～7月	なし
	夏	4	45		7月～8月	なし
	秋	7	193		9月～11月	なし
R4	春	7	107		5月～7月	なし
	夏	2	24		7月～8月	なし
	秋	5	197		9月～11月	なし
R5	春	5	189		5月～7月	なし
	夏	3	37		7月～8月	なし
	秋	6	308		9月～11月	なし

#### ◆主なできごと

H14 (2002) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤来町・頓原町・佐田町・出雲市・大社町の小中学校 29 校でスタート</li> <li>・9月、Web-GIS の第 1 号プロジェクトとして第 1 回調査・マップへの入力を開始</li> </ul>
H15 (2003) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸川流域環境学習推進協議会を設立</li> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・新たに多伎町・掛合町が加わり、計 33 校が参加</li> <li>・調査を春と秋の 2 回実施することを決定</li> <li>・横断幕、のぼりを作成し配布</li> <li>・2月 21 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター)</li> </ul> 
H16 (2004) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・8月 7 日「水環境フェア 2004in 新潟」で中国地区の代表として発表</li> <li>・10月 28 日「河川整備基金助成事業成果発表会」(東京)で発表</li> <li>・源流/河ロツアーやゴミ拾いなど流域での活動が活発になる</li> <li>・2月 19 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター)</li> </ul>
H17 (2005) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧飯南町立谷小学校、小田小学校が閉校</li> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・(社)日本河川協会平成 17 年度通常総会において、河川功労者表彰を受ける</li> <li>・市町村合併により、出雲市・雲南市・飯南町の 3 市町となる</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月12日源流ツアー&amp;成果発表会を開催(飯南町 ふれあいホールみせん)</li> <li>・学校交流、源流・河口への見学、学校から離れたところの調査などが活発になる</li> </ul>
H18 (2006)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・雲南市立吉田小学校が加わり、対象校は32校に</li> <li>・7月16日～19日にかけての大雨で神戸川が氾濫し、浸水被害などが発生</li> <li>・8月1日 斐伊川流域への編入、神戸川は1級河川に</li> <li>・8月7, 8日「水環境フェア 2006in 松江」開催</li> <li>・8月14日～17日「東アジア環境教育ミーティング」で神戸川を視察</li> <li>・2月(財)日本河川環境管理財団発行の『水辺から学ぼう』第5号市民団体活動事例集に神戸川流域環境学習推進協議会の学校教育支援活動が4ページに渡って紹介され、全国に配布される</li> </ul>
H19 (2007)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸川流域環境学習推進協議会などが母体となって2007年2月に設立された「NPO法人しまね体験活動支援センター」が事業の主催者となる</li> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・神戸川の災害復旧工事が進行し川のにごりが続く</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川で開催</li> <li>・5月 第1回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時33校参加</li> <li>・「平成18年度の神戸川流域マップづくり」が(財)河川環境管理財団の『平成19年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(採択件数351件の内45件)</li> <li>・11月23日(祝)「第1回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し6校が発表(出雲科学館)</li> <li>・国土交通省出雲河川事務所の「川の語りべ」候補者調査に協力</li> </ul>
H20 (2008)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第2回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時28校と1公民館参加(公民館の参加は初)</li> <li>・11月「神戸川史」作成のため「未来に神戸川の歴史を伝える会」発足</li> <li>・11月22日(土) 出雲科学館において「第2回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校1校、公民館1館が発表</li> </ul>
H21 (2009)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、(財)しまね自然と環境財団のふれあい環境助成金の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始(環境学習施設初参加)</li> <li>・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校2校、環境学習施設1館が発表</li> <li>・2月22日 神戸川史作成協議会が未来に神戸川の歴史を伝える「神戸川史」を発刊し、その中で2ページを使って斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを紹介</li> </ul>
H22 (2010)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)しまね自然と環境財団「ふれあい環境助成金」、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」、全労済「2010年全労済地域貢献助成事業」の助成を受ける</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月23日(火・祝) 出雲科学館において「第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立来島小学校の3校が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも放映される</li> </ul>
H23 (2011)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・6月 中国地方地域づくり等助成事業報告会(広島市)で取り組みを発表</li> <li>・11月23日(水・祝) 出雲科学館において流域全体で取り組む河川環境保全活動「第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会の3校と1団体が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも発表の様子が放映される</li> </ul>
H24 (2012)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、一般財団法人セブニーイレブン記念財団「2012年度公募助成」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・5月 第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・6月 (公社)日本河川協会より河川功労者表彰を受賞</li> <li>・9月 島根県主催「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で河川環境マップづくりの取り組みと水質の変化及び水質改善に関する意見を発表</li> <li>・11月23日(金・祝) 出雲科学館において「第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立須佐小学校、雲南市立吉田小学校、飯南町立志々小学校、奥出雲町立阿井小学校の4校が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道される</li> <li>・12月 「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で意見発表</li> </ul>
H25 (2013)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・5月 第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月 (公財)河川財団より『平成25年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(応募364件、採択件数283件の中から選定)</li> <li>・11月23日(土・祝) 出雲科学館において「第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立朝山小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立頓原小学校、奥出雲町立八川小学校の4校が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞、山陰中央新報に成果発表会の様子が報道された 参加学校数18、公民館1、延べ参加者数715人</li> </ul>
H26 (2014)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月23日(日・祝) 出雲科学館において「第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、奥出雲町立三沢小学校、出雲西高等学校、奥出雲町立布勢公民館の3校と1公民館が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数16(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数535人</li> <li>・3月 国土交通省(出雲河川事務所)の河川協力団体として登録</li> </ul>
H27 (2015) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、全労済の助成を受ける</li> <li>・4月 河川協力団体として活動を開始する</li> <li>・6月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、出雲市立神戸川小学校、雲南市立西日登小学校の3校が発表</li> <li>・11月24日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数16(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数499人</li> </ul>
H28 (2016) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月23日(水・祝) 出雲科学館において「第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校が発表</li> <li>・同日同会場において斐伊川・神戸川流域環境マップづくり10周年を記念して、約130名が参加し「斐伊川・神戸川子どもシンポジウム」を開催した</li> <li>・11月27日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数14(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数496人</li> </ul>
H29 (2017) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、しまね社会貢献基金活動支援金の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・6月 (一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業報告会」(広島市)で発表。<u>敢闘賞を受賞</u></li> <li>・11月 <u>公益財団法人河川財団より平成28年度助成事業「川づくり団体部門」優秀成果表彰団体に選出される</u></li> <li>・11月23日(木・祝) 出雲科学館において「第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立大社中学校科学部、雲南市立大東中学校、出雲西高等学校インターアクトクラブが発表</li> <li>・11月25日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された</li> <li>・1月「平成28年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)で発表 参加学校数13(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数488人</li> </ul>

H30 (2018) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月24日(土) 出雲科学館において「第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立神戸川小学校、出雲市立鱒淵小学校、奥出雲町立阿井小学校が発表</li> <li>・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された</li> <li>・12月16日 <u>国土交通省より優れた地域づくり活動に与えられる「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞し、東京国際交流館プラザ平成で行われた記念発表会に参加</u></li> <li>・1月「平成29年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)のポスターセッションで河川環境マップづくり事例発表</li> <li>・2月 出雲市役所で行われた国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」授与式に参加 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数433人</li> </ul>
R1 (2019) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・10月 <u>公益財団法人河川財団より平成30年度助成事業「川づくり団体部門」の優秀成果表彰団体に選出される</u></li> <li>・11月24日(日) 出雲科学館において「第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立鳥上小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立布勢公民館が発表</li> <li>・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された</li> <li>・2月「平成30年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学山上会館)「川づくり団体部門」優秀成果団体表彰式に出席しポスターセッションで河川環境マップづくりの取り組み事例を発表 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数474人</li> </ul>
R2(2020) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、しまね社会貢献基金活動支援金の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう!」夏休みに親子水質調査体験活動を始めて開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者は5組13名で開催</li> <li>・11月21日(土) 出雲科学館において「第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立志々小学校、雲南市立大東小学校、出雲市立佐田中学校の3校が発表</li> <li>・11月下旬 山陰中央新報・島根日日新聞と出雲ケーブルビジョンで成果発表会の様子が報道された 参加学校数12(高等学校1含む)、延べ参加者数314人</li> </ul>

R3(2021) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休みに親子水質調査体験活動を開催 日程変更のため参加者は4組8名で開催</li> <li>・11月20日(土) 出雲科学館において「第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立阿井小学校、出雲西高等学校の4校が発表</li> <li>・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された 参加学校・公民館数12(高等学校1、公民館1含む)、延べ参加者数379人</li> </ul>
R4(2022) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</li> <li>・2月 理事長・事務局長が新出雲市長・出雲市教育委員会教育長を訪ね斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの活動を紹介し継続的な支援を要請</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休み親子で水質調査体験活動は新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむなく中止とした。</li> <li>・11月23日(水・祝) 出雲科学館において「第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立神戸川小学校の3校が発表</li> <li>・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された 参加学校数11(高等学校1含む)、延べ参加者数328人</li> </ul>
R5(2023) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第17回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」開催 国土交通省出雲河川事務所の協力で、夏休み親子で宍道湖環境調査を開催し、小学生4名、3家族合計7人が宍道湖遊覧船はくちょう号に乗船して、嫁が島付近で夏の宍道湖の透視度・水質・塩分濃度や湖底の生物を調査した。宍道湖の環境を調査して汽水湖の宍道湖の水質保全の必要性を感じてもらった。 講師:公益財団法人島根県環境保健公社</li> <li>・11月18日(土) 出雲科学館において「第17回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立塩冶小学校、出雲市立佐田中学校の2校が発表</li> <li>・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された 参加学校数10(高等学校1含む)、延べ参加者数534人</li> </ul>